

ROOF PAINT

STANDARD COLORS

ROOF PAINT Series

High Quality Selection

ふっ素樹脂系屋根用塗料

スーパーフッソルーフペイント

高耐候性特殊シリコン樹脂系屋根用塗料

スーパークリスタルルーフペイント

アクリルシリコン樹脂系屋根用塗料

スーパーシリコンルーフペイント

ふっ素樹脂系屋根用塗料

スーパーフッソルーフペイント

- 1 フッ素系樹脂を用いていますので、2液のアクリルシリコン樹脂系塗料と同等以上の高耐候性・耐久性を保持します。
- 2 速乾性で、塗装後の結露や降雨による白化がおこりにくく、施工時間が延長できます。
- 3 一液のため塗料のロスが無く、使い勝手に優れています。
- 4 塗料用シンナーでうすめることができるため、旧塗膜を侵しません。油性・合成樹脂系さび止めの上に塗り重ねることができます。
- 5 スーパールーフハイブリッド硬化剤を用いることによって、2液ルーフペイントとして強靱な架橋反応を得ることができます。

使用方法			
希釈剤	塗料用シンナー A(但し、洗浄用にはラッカーシンナー使用)		
塗装方法および希釈率	ハケ	ローラー	エアレススプレー
	5～15%	5～15%	5～15%
塗装間隔	2時間以上7日以内(23℃)		
塗り面積	50～63㎡/缶(2回塗りでの1缶当りの㎡)		
容量	14kg		

高耐候性特殊シリコン樹脂系屋根用塗料

スーパークリスタルルーフペイント

- 1 「ハイグロスレジン」で優れた超光沢を実現。また耐候性に優れたシリコン系ハイグロスレジンを増量することで、肉もち感や初期光沢性がアップしています。
- 2 超光沢を長期間に渡り持続。高性能シリコン樹脂をリッチに使用しUVコントロール技術により、長期にわたり超光沢が持続します。
- 3 厳しい自然条件でも、強靱かつ柔軟性のある塗料で、塗膜のフレ、ハガレを防ぎます。
- 4 結露による初期光沢低下を防ぐ速乾性です。よって朝晩の寒暖差が激しい日の塗装中に起きやすい結露によってツヤが失われることを防ぎます。
- 5 1液2液兼用ハイブリッド塗料のため場面や目的に応じて使い分けが可能なハイブリッド塗料です。

- 6 つや消し(3分つや有り程度)対応が可能です(特注対応になります)。
- 7 スーパールーフハイブリッド硬化剤を用いることによって、2液ルーフペイントとして強靱な架橋反応を得ることができます。

使用方法			
希釈剤	塗料用シンナー A(但し、洗浄用にはラッカーシンナー使用)		
塗装方法および希釈率	ハケ	ローラー	エアレススプレー
	5～15%	5～15%	5～15%
塗装間隔	2時間以上7日以内(23℃)		
塗り面積	50～63㎡/缶(2回塗りでの1缶当りの㎡)		
容量	14kg		

アクリルシリコン樹脂系屋根用塗料

スーパーシリコンルーフペイント

- 1 アクリルシリコン樹脂を用いていますので、2液のポリウレタン樹脂系塗料と同等以上の高耐候性・耐久性を保持します。
- 2 速乾性で、塗装後の結露や降雨による白化がおこりにくく、施工時間が延長できます。
- 3 一液のため塗料のロスが無く、使い勝手に優れています。
- 4 塗料用シンナーでうすめることができるため、旧塗膜を侵しません。油性・合成樹脂系さび止めの上に塗り重ねることができます。
- 5 つや消し(3分つや有り程度)対応が可能です(特注対応になります)。
- 6 つや消し仕上げの標準色を設定しております。

- 7 スーパールーフハイブリッド硬化剤を用いることによって、2液ルーフペイントとして強靱な架橋反応を得ることができます。

使用方法			
希釈剤	塗料用シンナー A(但し、洗浄用にはラッカーシンナー使用)		
塗装方法および希釈率※	ハケ	ローラー	エアレススプレー
	5～15%	5～15%	5～15%
塗装間隔	2時間以上7日以内(23℃)		
塗り面積	50～63㎡/缶(2回塗りでの1缶当りの㎡)		
容量	14kg		

※ただし、シリバーはハケ・ローラー・エアレススプレーとも、希釈率：0～5%

凍結・融解を繰り返す厳しい雪国の環境から屋根を守ります。

スーパールーフペイント ハイブリッドシステム

- 1 1液では従来の性能を保持したまま使用でき、スーパールーフハイブリッド硬化剤を用いることで強靱な架橋反応を得られ、完全2液ルーフペイントとして使用できます。したがって1つのベース材で状況に応じた使用方法が可能となります。
- 2 素地への密着力と耐水性が更に向上するので、没水状態に匹敵するようなスノーダクトや勾配の緩い屋根のような凍結融解の激しい部位に最適です。
- 3 初期光沢、および光沢保持性が向上します。
- 4 従来型2液塗料に比べて「シマリ」が早く、初期乾燥性に優れます。
- 5 完全2液形ルーフペイントに比べ、塗料のロスが少なく済みます。
- 6 常備色全てに対応できます。

性能比較(スーパーシリコンルーフの場合)			
試験項目		スーパーシリコンルーフペイント	スーパーシリコンルーフペイントハイブリッドシステム
光沢20/60°G		76/85	83/90
凍結融解サイクル	30サイクル	○	○
	50サイクル	△	○
塗膜物性	伸び率(%)	79.0	98.0
	破断応力(N/mm ²)	10.5	13.0
促進耐候性XWOM3000h	光沢保持率(%)	86	90
	色差(ΔE)	0.67	0.41

- 製品名：スーパールーフハイブリッド硬化剤
●製品コード 22-127-702(標準型) ●製品コード 22-127-703(低温型)
- 容 量：1.8kg【0.9kg×2本】 ■ 混合比：ベース/硬化剤=7.7/1
(石油缶に対して1.8kgを使用します。)

【標準推奨仕様】

工 程		塗料名	塗装回数	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)	希釈剤 (%)
素地調整		高圧洗浄、3種ケレン程度の処理を行い、さび・劣化(膨れ・ワレ・浮き)塗膜・ごみ・よごれなどを入念に除去した清浄な面にする。					
補修塗り		ザウルスEXⅡ または 1液エスコマイルド または アレスダイナミック1液プライマー	1	0.13～0.17	ハケ・ローラー スプレー	4時間以上 7日以内	塗料用シンナーA 0～10%
下塗り ※1			1				
上 塗 り	フッ素系 の場合	スーパーフッソ ルーフペイント	2	0.11～0.14	ハケ・ローラー スプレー	2時間以上 7日以内	塗料用シンナーA 推奨製品 使用方法参照
	特殊シリコン系 の場合	スーパークリスタル ルーフペイント	2	0.11～0.14	ハケ・ローラー スプレー	2時間以上 7日以内	
	シリコン系 の場合	スーパーシリコン ルーフペイント	2	0.11～0.14	ハケ・ローラー スプレー	2時間以上 7日以内	

●新設の亜鉛メッキ面の場合、下塗りの工程を下記に変更してください。

補修塗り	スーパーザウルスⅡ (ベース/硬化剤=9/1)	1	0.14～0.17	ハケ・ローラー	4時間以上 7日以内	塗料用シンナーA 0～10%
下塗り		1				

※補修塗りにエスコラストフリーザー使用可、その際は下塗りが必要となります。※その他の下塗りとしてエスコアレスダイナミックプライマーアレスルーフエポプライマーラスゴンセーフティ(K)を使用する事も可能です。但し、使用する際には、塗膜間隔・下地選定・塗装環境等を十分に考慮した上での使用をお願いします。

【鋼板推奨仕様素地調整】

素地調整		高圧洗浄、3種ケレン程度の処理を行い、さび・劣化(膨れ・ワレ・浮き)塗膜ごみ・よごれなどを入念に除去した清浄な面にする。					
------	--	--	--	--	--	--	--

【塩ビ被覆鋼板推奨仕様】

補修塗り		エスコNB (ベース／硬化剤=9／1)	1	0.24	ハケ・ローラー	8時間以上 7日以内	テクトEPシンナー 0～10%
下塗り			1				
上塗り	フッ素系 の場合	スーパーフッソ ルーフペイント	2	0.11～0.14	ハケ・ローラー スプレー	2時間以上 7日以内	塗料用シンナーA 左記参照
	特殊シリコン系 の場合	スーパークリスタル ルーフペイント	2	0.11～0.14	ハケ・ローラー スプレー	2時間以上 7日以内	
	シリコン系 の場合	スーパーシリコン ルーフペイント	2	0.11～0.14	ハケ・ローラー スプレー	2時間以上 7日以内	

※上記のほか、下塗りとしてエスコ、アルテクトNB、エポマリンGXが使用できます。

【ガルバリウム鋼板推奨仕様】 ●焼付旧塗膜がある場合 ●旧塗膜がなく経年している場合

補修塗り		スーパーザウルスⅡ (ベース/硬化剤=9/1)	1	0.14～0.17	ハケ・ローラー	4時間以上 7日以内	塗料用シンナーA 0～10%
下塗り			1				
上塗り	フッ素系 の場合	スーパーフッソ ルーフペイント	2	0.11～0.14	ハケ・ローラー スプレー	2時間以上 7日以内	塗料用シンナーA 左記参照
	特殊シリコン系 の場合	スーパークリスタル ルーフペイント	2	0.11～0.14	ハケ・ローラー スプレー	2時間以上 7日以内	
	シリコン系 の場合	スーパーシリコン ルーフペイント	2	0.11～0.14	ハケ・ローラー スプレー	2時間以上 7日以内	

※塗膜がない新設の場合は、付着不良(ハガレ)になる場合がありますので、塗装を避けてください。 ※上記のほか、下塗りとしてエポマリンGX・アレスダイナミックプライマーが使用できます。

【新生瓦推奨仕様】

工 程		塗料名	塗装回数	標準所要量 (kg/㎡/回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)	希釈剤 (%)
素地調整		劣化した旧塗膜や表面の化粧層、砂、ホコリ、汚れ、コケなどは高圧水洗洗浄機やワイヤーブラシなどを用いて入念に除去してください。その後、水分がなくなるまで十分に乾燥させてください。					
下塗り		ヤネ強化プライマー-EPO	1	0.20～0.40	ハケ・ローラー スプレー	4時間以上 7日以内	—
上塗り		スーパーシリコンルーフペイント	2	0.22～0.29	ハケ・ローラー スプレー	2時間以上 7日以内	塗料用 シンナーA
縁切り		上下の瓦が塗料で接着している箇所は、皮スキなどで縁切りを行ってください。 (瓦の上下に隙間がないと結露水の通気ができなくなり、素材の腐食・漏水につながる恐れがあります。)					

※所要量は被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。 ※洋風コンクリート瓦(モニエル瓦)、粘度瓦(いぶし瓦、釉薬瓦など)には塗装できませんのでご注意ください。 ※素地調整などによって、下塗りが基材に吸込みやすくなる場合があります。その際には、再度、下塗り工程を行い、表面が濡れ色になることを確認して、次の工程に移ってください。 ※金属部分については、ヤネ強化プライマーの代わりに、ザウルスEXⅡなどの金属用さび止め塗料を塗装してください。 ※新生瓦へ適性のある塗料は「スーパーシリコンルーフペイント」のみです。 ※スーパーシリコンルーフつや消しは、新生瓦へは塗装できませんのでご注意ください。 ※上記のほか、下塗りとして浸透形Mシーラー、アレスダイナミックシーラーマイルドが使用できます。

【スーパールーフハイブリッド硬化剤を用いたシステム】

工 程		塗料名	塗装回数	標準所要量 (kg/㎡/回)	塗装方法	塗装間隔	希釈剤 (%)
上塗り 1回目		スーパーフッソルーフ スーパークリスタルルーフ スーパーシリコンルーフ スーパールーフハイブリッド硬化剤 (ベース/硬化剤=7.7/1)	1	0.11～0.14	ハケ・ローラー スプレー	2時間以上 (23℃) 16時間以上 (5℃)	塗料用シンナーA ハケ・ローラー スプレー 5～15%
上塗り 2回目		スーパーフッソルーフ スーパークリスタルルーフ スーパーシリコンルーフ スーパールーフハイブリッド硬化剤 (ベース/硬化剤=7.7/1)	1	0.11～0.14	ハケ・ローラー スプレー	—	塗料用シンナーA ハケ・ローラー スプレー 5～15%

※ポットライフは23℃で3～4時間程度ですので、2～3時間で使い切れる程度の量を調整してご使用ください。 ※スーパーシリコンルーフつや消しには、ハイブリッド硬化剤は使用できませんのでご注意ください。 ※スーパールーフハイブリッド硬化剤(低温用)は、春秋の気温が10℃前後を目安にご使用ください。

あなたの家の屋根は、大丈夫ですか？

下記の兆候が見られたら、塗り替え時期です。

汚 れ



樹木の落ち葉や大気の汚れが蓄積して、そこから塗膜を劣化させていきます。

さ び



さびの発生が屋根全体の3%位に達すると、急速にさび面は拡大していきます。

光 沢 低 下



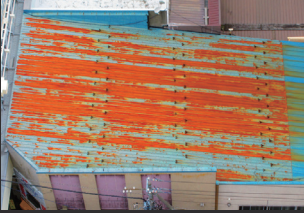
つや(光沢)がなくなれば、それは塗膜が劣化した第一段階です。

白 化



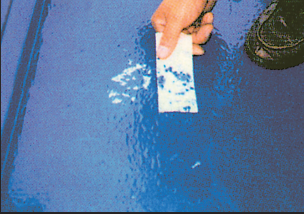
塗膜の劣化が進むと手でさわればベツタリと白い粉状となって付着します。

ハ ガ レ



塗膜がハガれて金属がむき出しになると、さびが発生し、最終的には腐食し雨水が侵入します。

付 着 性 能



ガムテープなどで、付着具合を確かめます。塗膜がテープに1割以上付着していたら塗り替えをおすすめします。

高品質塗料で、美しく、長持ちする屋根に！

塗料の樹脂は、上のランクほど耐候性が良くなります。使うほどに実感できます。

製品名(系統)	光沢保持性	耐久性	耐候性が良い
スーパーフッソルーフペイント ハイブリッドシステム(フッソ樹脂系)	◎+	◎+	→
スーパーフッソルーフペイント (フッソ樹脂系)	◎+	◎+	→
スーパークリスタルルーフペイント ハイブリッドシステム(特殊シリコン樹脂系)	◎+	◎+	→
スーパークリスタルルーフペイント (特殊シリコン樹脂系)	◎	◎	→
スーパーシリコンルーフペイント ハイブリッドシステム(アクリルシリコン樹脂系)	◎	◎	→
スーパーシリコンルーフペイント (アクリルシリコン樹脂系)	○	○	→
スーパーウレタンルーフペイント (特殊ウレタン樹脂系)	—	—	→
ACルーフペイントリッチ (特殊アクリル樹脂系)	—	—	→
SDルーフペイント (合成樹脂系)	—	—	→

注) 評価基準は相対的な比較であり、絶対値ではありません。(スーパーシリコンルーフペイントを○と仮定)

■標準色一覧表

品 名	スーパーフッソルーフ	スーパークリスタルルーフ	スーパーシリコンルーフ
マールーン	○	○	●
ビーバーレッド	○	○	●
チョコレート	○	○	●
コーヒープラウン	●	●	●
セピア	○	○	●
新ブラウン	●	●	●
ネオブラック	—	—	●
ローヤルレッド	●	●	●
赤さび色	○	○	●
アリゾナブラウン	○	○	○
モルトブラウン	○	●	●
ピスタブラウン	○	○	●
ジェットブラック	●	●	●
ブラック	●	●	●
チャコールブルー	○	○	●
ナスコン	●	●	●
ブルー	○	○	●
ネオモスグリーン	○	○	●
モスグリーン	●	●	●
新グリーン	○	○	○
ターコイズグリーン	○	○	○
ミッドナイトブルー	○	○	●
ローヤルブルー	○	○	○
新スカイブルー	○	○	○
ナイスブルー	●	●	●
フレッシュグリーン	○	○	●
シャイングリーン	○	●	○
ミストグリーン	○	○	●
ホワイト	○	○	●
シティーグレー	○	○	○
シルバー	—	●	●
スチールグレー	○	○	●
カーボングレー	○	●	●
新クリーム色	○	○	○
クリーム色	○	○	●
グレー	○	○	●
グラニットグレー	○	○	●
つや消し			
つや消しネオブラック	—	—	●
つや消しチョコレート	—	—	●
つや消し新ブラウン	—	—	●
つや消しフレッシュグリーン	—	—	●
つや消しナスコン	—	—	●

●：常備色 ○：調色品対応 —：調色対応不可

※スーパークリスタルルーフ、スーパーシリコンルーフは艶消し(3分艶有り程度)対応が可能です(特注対応になります)。

※この色見本帳は紙に塗装しているため、実際の色調とは若干異なります。

※塗料品種により、同一でも色・ツヤに多少の差異がある場合があります。ご了承ください。

※見本帳の有効期限は2027年5月です。

ROOF PAINT STANDARD



マルーン

※他の常備色より材料費が増加します。

Si



ローヤルレッド

F

Cr

Si



ビーバーレッド

Si



赤さび色

Si



チョコレート

Si



アリゾナブラウン



コーヒーブラウン

F

Cr

Si



モルトブラウン

Cr

Si



セピア

Si



ビスタブラウン

Si

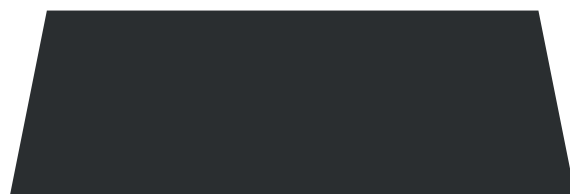


新ブラウン

F

Cr

Si

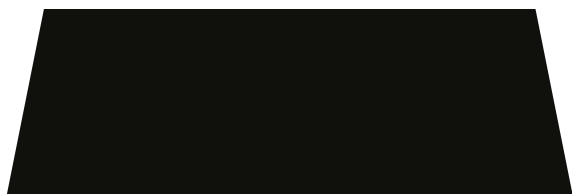


ジェットブラック

F

Cr

Si



ネオブラック

Si



ブラック

F

Cr

Si



チャコールブルー

Si



ミッドナイトブルー

Si



ナスコン

F

Cr

Si



ローヤルブルー



ブルー

Si



新スカイブルー



ネオモスグリーン

Si



ナイスブルー

F

Cr

Si



モスグリーン

F

Cr

Si



フレッシュグリーン

Si



新グリーン



シャイングリーン

Cr



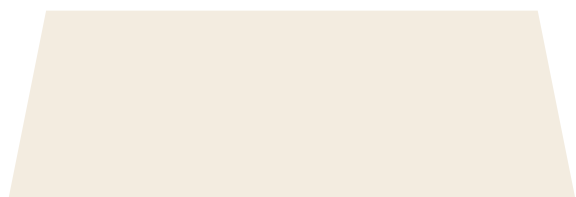
ターコイズグリーン



ミストグリーン

Si

F スーパーフッソルーフペイント **Cr** スーパークリスタルルーフペイント **Si** スーパーシリコンルーフペイント



ホワイต์

Si



新クリーム色



シティーグレー



クリーム色

Si



シルバー

Cr

Si



グレー

Si



スチールグレー

Si



グラニットグレー

Si



カーボングレー

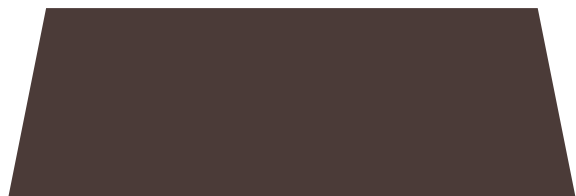
Cr

Si



つや消しネオブラック

Si



つや消しチョコレート

Si



つや消し新ブラウン

Si



つや消しフレッシュグリーン

Si



つや消しナスコン

Si

※この色見本は、紙に塗装していますので実際の仕上がりとは多少異なります。
※パソコンなどで色を確認した場合は、ご使用の環境により実際の色とは異なりますのでご注意ください。

施工上の注意事項

- 本注意事項及びご使用になる下塗のカタログに記載の注意事項を必ずご確認の上、塗装を行ってください。
- エスコNBマイルド、エスコNBマイルドKとスーパーシリコンルーフペイントおよびスーパークリスタルルーフペイントのつや調整品(つや消し)の組み合わせはちぢみが発生する場合がありますので、この組み合わせはさけてください。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨・結露などで負荷が掛った場合や、低温、高湿度、通風の無い環境では、フクレ、はく離、割れ、白化、シミなどが発生するおそれがありますので、塗装をさけてください。
- 可塑剤が多く含まれる部材(ゴム・パッキン、ラミネート、合成皮革、プラスチック、シーリング材など)への塗装はさけてください。粘着や軟化が生じるおそれがあります。また、これら部材に直接塗膜が接触しないよう注意してください。
- 塗料用シンナーで溶解する旧塗膜や下地の場合には塗装しないでください。(ちぢみ、にじみ、中うみ、割れ等発生する場合があります。)
- 下塗に鉛酸カルシウム錆止め塗料は使用しないでください。
- 気温5℃以下(低温)、湿度85%以上(高湿)での施工はさけてください。
- 屋外において降雨、降雪、強風のおそれがある場合は塗装をさけてください。
- 塗装間隔は環境(温度、湿度、換気回数等)や膜厚によって変わります。
- 施工当日に被塗面に結露の発生が予想される場合は施工は行わないでください。
- 所要量は、被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などにより増減することがあります。
- 塗膜に降雨や結露の影響を受けた場合は、白化やつや引けなどの異状が生じやすくなります。山間部や河川近くなどの夜露の早くおりの多湿地域では、より条件が厳しくなりますのでご注意ください。
- 気象条件によりますが、塗装作業は、原則として晴天日の日中午前9時から午後3時までの時間帯を推奨します。
- 秋期のような昼と夜の温度差が激しい時期は、結露によるつや引け現象がおこり易いため、時間を考慮して塗装を行ってください。(結露・夜露によるつや引け現象が予測される場合は、「ルーフアジャスト白化ストッパー」推奨いたします。)
- 気温の高い日や被塗物温度が高い場合、下記のご使用を推奨いたします。
作業性・平滑性の向上：スーパールーフヒートアウト
粘着性がきになる：ルーフアジャスト粘着ストッパー
- 塗装仕様書に記載の数値は標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件により多少の幅を生じることがあります。
- 塗膜性能を十分に発揮させるために、所定の塗り回数と塗付量確保による施工を行ってください。
- 吸い込みの大きい下地や素材の場合は、塗付量が多く乾燥が遅くなりますので塗装間隔を長めにとってください。また、上塗までの塗装間隔が規定よりも短い場合、ちぢみ、割れ、乾燥不良を起こすおそれがありますので注意してください。
- 塗装間隔は厳守してください。塗装間隔を過ぎた場合は目荒らしを行った後に塗装してください。
- また、塗装間隔が短い場合は、ちぢみ、割れ、しわ等が発生することがありますのでご注意ください。
- 塗付け量が極端に多いと乾燥が遅くなり、塗り重ね時にちぢみ、にじみ等の問題が発生する場合がありますので、規定の所要量の範囲で塗装してください。
- ぶっ素鋼板の塗り替えは、テスト施工で付着性を確認してから施工してください。
- シーリング面への塗装はさけてください。汚染や粘着、割れの原因となります。
- 補修塗り用として使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- 補修塗りの際は、塗装方法や凹凸肌のちがひ等により、仕上がり性に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に試し塗りをした上で希釈量等を決定してください。
- 塗り替え塗装の前に、必ず高圧水洗やブラシを用いて、被塗面の付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。下地調整が不十分な場合には塗膜剥離の原因となったり、光沢不足や色むらが発生するなど異常を生じるおそれがあります。
- 下地の劣化が著しく旧塗膜の密着不良が見られる場合は、脆弱塗膜を全て除去してください。
- 被塗物にカビや藻が繁殖している場合は、下地処理としてカビ・藻の除去および殺菌処理後、十分水洗い、乾燥してから塗装してください。
- スプレー塗装を行う場合は、塗装ミストによる汚染防止のために特に十分な養生を行ってください。
- ハイブリットシステムにおいて主剤と硬化剤を規定の混合比率で配合した後、十分かくはんした後で塗装に使用してください。
- ハイブリットシステムにおいて主剤と硬化剤の混合比率が合っていない場合には、仕上がり性、耐熱軟化性、付着性、耐久性等の諸性能に影響しますので正確に計量し配合してください。
- ハイブリットシステムにおいて主剤と硬化剤を混合した塗料は、可使時間内に使用してください。

- 可使時間を過ぎたものを使用すると性能低下などの不具合を起こすおそれがありますので廃棄してください。
- 塗料の希釈率は試験塗装などにより決定し、それ以降は同じ希釈率で塗装してください。
- 規定範囲を超えて希釈すると、ハジキ・光沢低下・色味変化・たれ・隠蔽力不足など仕上がりにも異常をきたすおそれがありますので、所定の希釈率を遵守してください。また当該現場で一度測定した希釈率はなるべく同一にしてください。
- 使用前に塗料を均一にかき混ぜてください。特に濃色系塗料は保管期間が長いと容器内で顔料の分離が生じていることがありますので十分かくはんの上で使用ください。
- 塗料の希釈に「塗料用シンナーA」以外のシンナーを使用した場合、再溶解やちぢみ等の不具合を生じることがあります。
- 塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーをご使用ください。
- 材料は使用前に内容物が均一になるように十分にかくはんし、開缶後は速やかに一度に使い切り、使用した塗料を元の塗料容器に戻さないでください。
- 開缶した状態で長時間放置すると、空気と反応して増粘や皮張り等を起こしやすくなりますので、開缶後は速やかに使い切ってください。
- 高圧水洗を行うと屋根が滑りやすくなりますので、足場には十分注意してください。
- 溶剤系塗料ですので、室内塗装では溶剤蒸気が滞留しないよう十分な換気をしてください。また、屋外塗装においても溶剤蒸気が換気口から流入しないよう養生を行ってください。

【住宅屋根用化粧スレート、波形スレートなどの場合】

- 粘土瓦(粗葉瓦、いぶし瓦など)、洋風瓦には適用できません。
- つや消しタイプは新生瓦セメント瓦へは塗装できませんのでご注意ください。
- 吸い込みのはげしい被塗物や新生瓦などの塗り替え時はシーラーを塗装後にガムテープで基材との密着性を確認し、はがれが生じる部分は塗膜を剥離し、その部分に再度シーラーを塗付してください。
- 新生瓦などの窯業系屋根材の重なり部の隙間に塗料が入り込んだままにすると、降雨の排水性が悪くなり、漏水を生じることがあります。そのため、塗装後に屋根材同士が接している箇所を皮スキ、塗膜カッターで「縁切り」処理を行ってください。もしくは、塗装前に予め専用スーパースーを挟みこんだ後に塗装を行ってください。
- 新生瓦などの窯業系屋根材では、高圧水洗後や、降雨、融雪などで屋根材の内部にシミ込んだ水分が長時間では抜けきらないため、晴天時に2～3日程度乾燥させ、十分乾燥したことを確認した後に塗装を開始してください。乾燥が不十分な状態で塗装すると、塗膜の割れ、フクレ、はがれ等の不具合が発生することがあります。
- 洗浄後、新生瓦の破損、役物の釘浮き、シーリング切れなどチェックを行い、補修が必要な場合には適切な処置を行ってください。

【金属屋根の場合】

- スノードクトのような勾配の殆ど無い屋根の塗り替えは、高い耐水性性能を要求されるため必ず下塗1回、上塗2回で塗装を行ってください。
- 積雪の荷重を最も受けやすい軒先の部分、瓦棒の凸部、はげ部にはこすり付けるように増し塗りを行ってください。
- つや消し・タン屋根を塗り替える場合には、素材に対する上塗塗料の吸い込みを抑えるため、「ザウルスEXⅡ」又は「スーパーザウルスⅡ」、「1液エスコマイルド」、「アレスダイナミックプライマー」を下塗としてご使用ください。
- タン素地露出部は「ザウルスEXⅡ」又は「スーパーザウルスⅡ」で先行塗りをを行い、所定の塗装仕様で塗装してください。
- つや消し品やつや調整品は、膜厚、温度、塗色、塗り回数、塗装方法、希釈率などによりつやの発現性が変化します。特にほかローラー塗装時の塗継ぎ部では厚膜となり、その部位のつやが高くなり、つやむらを生じやすい傾向があります。試験施工で仕上がりを確認の上、本施工を行ってください。
- つや消し品は、使用中において塗料に含まれるつや消し剤が沈降しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
- つや消しタイプの1回塗りの仕上がりはむらが生じ易いため、必ず2回上塗で仕上げてください。
- スーパーシリコンルーフペイントおよびスーパークリスタルルーフペイントのつや調整品(つや消し)の施工時においては、冬季施工など硬化が進行し難い環境においてはちぢみが発生するリスクがあります。そのため1層目に同品のつや有を塗装するようにしてください。
- 折板屋根等のエッジ部等は、エアレス塗装ではスケ等が発生する場合があります。はけローラーで先行し増し塗りを行った後、エアレス塗装を実施してください。エアレス塗装を行った後ははけローラーで補修塗りを行うと、補修箇所の色相が異なることがあります。
- ほこり、油、樹液等は、塗装前に溶剤拭きや水洗い(温水)等で充分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。特にタンへの折り曲げ部分はほこりや砂等がたまりやすいため急な清掃を行ってください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。
製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■ 予 防 策

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護めがね・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。
火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気機器等を使用すること。
裸火又は高温の発熱体に噴霧しないこと。
本来の目的以外に使用しないこと。
当社指定以外の材料を混合しないこと。仕上り性、付着性、耐久性など性能に支障をきたすおそれがあります。
缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
塗料が付着した布ウエス、紙、ローラーは引火、発火を防止するため水に浸漬するなどして安全対策を行うこと。

■ 対 応

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

■ 保 管

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
直射日光、雨ざらし、凍結を避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

■ 廃 棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を遵守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

■ 施工後の安全

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp



お近くの営業所は
こちらから！

各種カタログご覧になれます。

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご諒承ください。

(24年05月14日PNA) カタログNo.692

頒布価格 1,500円(税別)